

後
軍

鶴子の氣、古來より中流に居るが如く、
 其の氣、古來より中流に居るが如く、

[illegible]

あり 時 限 の 終 了 後 世 代

唐元靈苑外生靈出たぬ唐外生靈の

提心少事西成肉通主主礼婚中

卷之四

支那のちんてん
のちんてん

とうきん
とくち

少子

松平の

風

古天

藏書

ちよひに
よるが
入る

八重子の世

中台

將也

正徳五年

正和子

中々あけ

海花堂

久美あやう

物ぶきくさる

核別の出巻と

更々日本奉使に遊故
作者らとて方なり

建礼門をとりてうめを敷田に築き、
太平元年

太平元年
おち月一日



